

「改憲ノー」を国民の中で圧倒的多数に

近畿2府4県でいっせいで特別国会報告街宣

「憲法9条守れ！特別国会報告街宣」が9、10日、大阪、奈良、和歌山（9日）、京都、兵庫、滋賀（10日）の各駅頭で行われ、山下芳生副委員長、穀田恵二国対委員長、宮本岳志衆院議員、たつみコータロー、倉林明子両参院議員、清水忠史、堀内照文両前衆院議員が訴えました。現・前の国会議員が揃って国会報告を行うのは、近畿で初めて。総選挙で前進した「近畿は一つ」の取り組みをさらに進めようとしたものです。各弁士は、特別国会での共産党の抜群の働きぶりを紹介し、安倍改憲ストップを熱く訴えました。



大阪 JR天王寺駅前（9日）



JR京都駅前（10日）

憲法・北朝鮮・森友・社会保障・未来社会 現・前国会議員が縦横に語る

山下副委員長は9日、大阪、奈良、和歌山で訴え。安倍首相の「森友」、「加計」への異常な優遇、トランプ米大統領べったりぶりを批判。憲法問題では、9条改憲は戦後日本の国の在り方を根底から変えてしまうものでことを指摘し、「改憲勢力は国会で3分の2を占めているが、国民の中で9条守れの圧倒的世論をつくれれば改憲発議は阻止できる」として3000万署名の推進を訴えました。

穀田国対委員長は10日、京都、兵庫、滋賀で訴え。この日が世界人権デーであり、憲法13条には基本的人権がうたわれていること、憲法9条の平和主義と合わせ、この2つが憲法の柱であることを強調しました。そして野党と市民団体の政策合意の第1が安倍9条改憲反対であることを紹介し、野党と市民の共闘で政治を変える立場を貫くことをキッパリ訴えました。

■宮本衆院議員 「森友」問題を通算15回追及してきたことを紹介。8億円値引きのため国が森友と口裏合わせをしてきたことをリアルに語り、「国民の疑問に答えるには安倍昭恵氏の証人喚問は避けて通れない」

■たつみ参院議員 「森友」問題について、学園と国、維新府政が二人三脚でルールをねじ曲げてきたと指摘。「野党と市民の共闘の要の共産党を大きくして政治を変えよう」

■倉林参院議員 安倍政権の社会保障大改悪を批判、「大企業・大金持ちに応分の負担を求める改革を行い、社会保障の拡充へ転換を」

■清水前衆院議員 憲法、北朝鮮問題などを多彩に語り、日本共産党の未来社会論にも言及。「貧困や戦争など資本主義の矛盾を乗り越え、未来社会の展望を持つ日本共産党を大きく」

■堀内前衆院議員 「北朝鮮問題でも9条が大事」とのべて、核・ミサイル問題では米朝の直接対話が必要であることを強調。「9条を持つ日本こそ平和解決の先頭に」

近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 55(2017.12.10)

改憲派が、ごまかしピラ 改憲派の「美しい日本の憲法をつくる国民の会」が9日、大阪・京橋駅頭で宣伝・署名を行っていました。配布したピラは、災害救助で奮闘する自衛隊の写真と「ありがとう自衛隊」の大見出し、裏面では「憲法に自衛隊を明記しよう！」と訴えています。このピラ、9条に書き込むことを狙う自衛隊は集団的自衛権行使によって海外で戦争する自衛隊であるという真実を隠しています。改憲派とのつばぜり合い。負けてられません。